

## トマトの似て非なる病害

### 「葉かび病」と「すすかび病」の防除対策

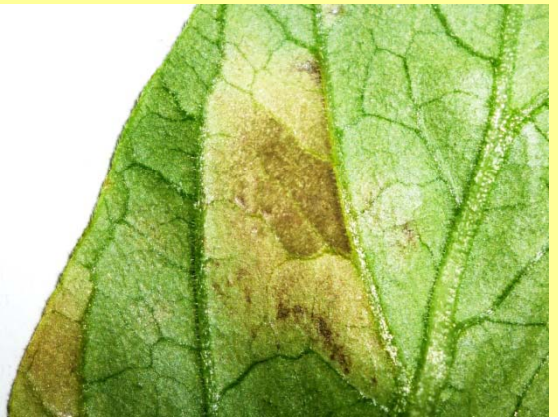
近年、トマトで、「葉かび病」の抵抗性品種を栽培したが、似たかびが発生し、期待した効果が得られないとの声が聞かれます。

この原因として、

- 1 その葉かび病抵抗性品種を侵す菌の系統（レース）が発生している場合
- 2 「葉かび病」に酷似した病害「すすかび病」が発生している場合



が考えられます。

#### トマトの葉かび病とすすかび病の症状

葉かび病	すすかび病
<ul style="list-style-type: none"><li>・施設栽培で発生が多い。</li><li>・主に葉に発生する。ただし、激発時には茎や花、果実なども侵す。</li><li>・初め葉の表面の一部分がわずかに黄変し、やがて裏側に、灰白色で輪郭が不鮮明な病斑を生じ、<u>灰白色ピロード状のかび</u>を生じる。その後、病斑は拡大して、円形あるいは葉脈に囲まれた不正形となり、かびの色は<u>灰褐色、褐色</u>と色の濃さを増していく。</li><li>・下位葉から次第に上位葉に広がる。</li><li>・葉裏のかびは<u>盛り上がり</u>が立体的である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設栽培で発生が多い。</li><li>・葉に発生する。</li><li>・初め葉裏にぼんやりした淡黄緑色の病斑が現れ、やがて葉裏に<u>灰褐色粉状のかび</u>を生じる。その後、病斑は拡大し、円形あるいは葉脈に囲まれた不正形となり、かびの色は<u>褐色～黒褐色</u>になる。</li><li>・葉裏のかびは<u>盛り上がり</u>がなく、平面的である。</li></ul>
	
葉かび病（トマト被害葉<葉裏>）	すすかび病（トマト被害葉<葉裏>）

見た目の区別は、困難！

## トマトの葉かび病とすすかび病の病原菌とその特徴

葉かび病	すすかび病
<i>Passalora fulva</i> (旧 <i>Fulvia fulva</i> )	<i>Pseudocercospora fuligena</i>
<ul style="list-style-type: none"> <li>糸状菌の一種で不完全菌類に属する。</li> <li>感染植物はトマト。</li> <li>伝染源は発病葉、種子の他、施設栽培では発生したハウスの支柱、ビニル等。</li> <li>多湿条件で発生する。</li> <li>病原菌の生育適温は20～25℃ (外が低温で換気が十分にできない晩秋～春の時期に発生が多い。)</li> <li>肥料切れや着果により、生育が衰えると発生しやすくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糸状菌の一種で不完全菌類に属する。</li> <li>感染植物はトマト、なす(すす斑病)。</li> <li>伝染源は発病葉等</li> <li>多湿条件で発生する。</li> <li>病原菌の生育適温は26～28℃ (葉かび病に比べ高温期に発生が多い。)</li> <li>生育が旺盛な時でも発生する。</li> </ul>
 <p>葉かび病菌孢子 0～1個の隔壁を持つ、紡錘形、俵型。</p>	 <p>すすかび病菌孢子 0～15個の隔壁を持つ、細長い針型。</p>
<p><b>孢子での見分けは容易！</b></p>	

ただし、孢子を見分けるには顕微鏡が必要  
→葉かび病、すすかび病の両方を考慮した防除対策を考えること！

### ○葉かび病とすすかび病に共通の防除対策

- 多湿条件で発病しやすい。過繁茂にならないように管理し、ハウス等の換気に努める。
- 感染から発病までの期間は2～3週間と長い。例年発生するほ場では予防散布を行う。また、初期防除を徹底し、発生の拡大防止に努める。
- 薬剤の感受性低下(耐性菌の発生)を防ぐため、薬剤のローテーション散布を行う。
- 特にQoI殺菌剤、SDHI殺菌剤は、耐性菌が発生しやすいため、連用は避ける。(1作1回程度の使用にとどめる。)

QoI殺菌剤の例：アミスター(アゾキシストロビン)、シグナム(成分の一つピラクロストロビン)、ファンベル(成分の一つピリベンカルブ)

SDHI殺菌剤の例：アフェット(ペンチオピラド)、カンタス(ボスカリド)、シグナム(成分の一つボスカリド)

## ○葉かび病の防除対策

- ・肥料切れや着果負担による草勢の低下により、発病しやすくなるので適切な肥培管理を行う。
- ・葉かび病に抵抗性のある品種（下記参照）を栽培する。
- ・葉かび病抵抗性の有無は、すすかび病に対する抵抗性には関係がないので、すすかび病の防除は別に検討する。
- ・抵抗性品種を利用している場合、発生がないか観察し、初期防除を徹底すること。

◎防除薬剤については、以下のホームページを確認してください。

- Web版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)
- 農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム ([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))

<参考>

### 葉かび病の抵抗性品種

品種が持つ葉かび病抵抗性遺伝子	品種名
Cf-9	大玉：CFハウス桃太郎、CF桃太郎ファイト、CF桃太郎はるか、ごほうび、秀丽、華美、パルト、マイロック、みそら64、桃太郎ギフト、桃太郎サニー、桃太郎セレクト、桃太郎ピース、桃太郎プレミアム、麗容 中玉：フルティカ ミニ：CFココ、CF千果、CF小鈴、アイコ、キャロル10、ラプリー藍、ラプリーさくら
Cf-4	大玉：桃太郎ヨーク、桃太郎ファイト ミニ：甘っこ

### トマト葉かび病抵抗性遺伝子とトマト葉かび病菌のレースとの関係

トマト葉かび病抵抗性遺伝子	トマト葉かび病菌のレース			
	レース0	レース4	レース9	レース4.9
なし	発病	発病	発病	発病
Cf-4	抵抗性	発病	抵抗性	発病
Cf-9	抵抗性	抵抗性	発病	発病

※葉かび病菌のレース表記は抵抗性遺伝子Cf-4を持つ品種に感染できるレースがレース4、Cf-4とCf-9を持つ品種に感染できるレースがレース4.9のように表される。

※府内では、Cf-9を持つ葉かび病抵抗性品種を侵す菌の系統（レース9、レース4.9等）は、現在のところ確認されていない（平成28年3月時点）。